



三渚保育園 園だより

July 2023



クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

子ども達は日差しが強くなり、汗だくになりながら夢中に。友達同士語り合いながら、壁をじっと見つめる先には、小さな虫。どんなことを話し合っているのだろうと耳を傾けると、面白い言葉が沢山聞こえてきます。

大人の私達は、多くの研修の機会に恵まれました。出来るだけ2名以上で参加をするようにしています。私達も語り合いを大切にしたいからです。何かを一人で聞いてしまうと「ふ～ん」と、分かったような気になり心の引き出しにしまいがちです。私達はそのあとのディスカッションからスタート。研修参加者は他スタッフを集めて「こんなことが学べた！」等シェアをします。同じ研修を受けても、心に刺さった事が各々違うから、出てくる感想も少しずつ違う。だけど、全てに共通しているのは、自分達の現在を見つめながら、これからの保育をポジティブにとらえていることです。そうすると、もう勝手にスタッフ同士が「子どもの姿がこうだった!」「面白いエピソードがある」「ああしたい!こうしたい!」と・・・話したいし、やりたい!盛り沢山!大変!自分たちの首絞めてるよね!なんて言いながら。(笑) 遠くは東京、大阪、もしくはウェブでの研修。実践発表をして評価をもらい、他の保育園を見学して何かを感じたりと、刺激を得ています。

先日の0歳児(たんぽぽ組)のクラス会議。子ども達が「出会い」をする時、どんな風に出会うべきかという話をしました。例えばマラカスひとつ。大人がマラカスを手にフリフリ音を鳴らしつつ笑顔で近づいて「ほら～。きれいな音だね!やってみる?」と子どもに手渡すというマラカスとの出会い。他方は、そっとマラカスが置かれているだけという出会い。そこで一人の子が手にもってみる。少しだけ音がする、不思議だなと感じる。「あ!」という顔をする、そこで大人も共感し「音が出たね!」という表情をする。どっちが子どもの頭の中で不思議や発見があるか?実際に会議の時マラカス一つ置いてみて、大人が0歳児になってみました。0歳になりきった大人は触ったりじっと見つめたりする。いざ、これを0歳の子にマラカスを差し出すと、想像を超えた反応を見せて大人達を脱帽させるんです。子どもをもっと理解したいと思いながら、そんなことを繰り返しています。國友裕子

たんぽぽ組

- 好きな遊びを見つけて繰り返し遊ぶ。
- 水の感触や冷たさを味わい、楽しむ。

もも組

- 夏ならではの遊びを楽しみ、満足感を味わう。
- 栄養、休息を充分にとり、暑い時期を快適に過ごす。

ばら組

- 水遊びやプール遊びを通して水に親しむ。
- 保育者や友達と関わりながら、好きな遊びを見つけて楽しむ。

うめ組

- 保育者や友達と一緒にプール遊びや水遊びをして夏ならではの遊びを楽しむ。
- 夏季の日差しや気温に留意し、快適に過ごせるようにする。

すみれ組

- 夏の行事に関心を持ち、積極的に参加して楽しむ
- 夏の自然への興味関心を広げ、夏ならではの遊びを体全体で表現して遊んでいく。

ゆり組

- 夏の健康的な過ごし方を考え、健康に過ごせるようにする。
- 自分らしさを発揮しながら考えたり表現したりし、遊びを楽しむ。

りさせんせい、名前変わったってよ!

この度、中村理沙が入籍し高田理沙になりました。スタッフ一同、家族が結婚したように大興奮で大喜びしました。これまで通り、「りさ先生」と呼んでいます。旦那様、うちの理沙をよろしくお願いします。

さけむらせんせい、けっこんしましたってよ!

先月、酒村晃太が披露宴を行いました。我々職員も出席でしたが、ゆり組の心温まるサプライズ映像と、その後のご本人たち登場に新郎新婦のみならず、職員みんなびっくり!ありがとうございました。奥様、いつも裏で園を支えてくださって感謝。これからもご迷惑おかけします。(笑)

● 7月の行事 ●

7日(金) たなばたジャンボリー
 AM たんぽぽ・もも・ばら
 PM うめ・すみれ・ゆり
 保育参観あります

14日(金) 避難訓練
 17日(月) 祝・海の日
 24日(月) 身体測定 ~28日(金)
 31日(木) お誕生会



だから大切にしたい、子どもの全ての表現を！

【楽しい・好きは原動力】

小林 和代

2歳児クラスばら組の保育室。その隣は、絵本コーナーです。ある日、手を取ったのが『わたしのワンピース』。昔からよく読まれている絵本なので知っている子どもも多いものです。クラスで連日子ども達に読んでいると、一緒に言葉に出して楽しむ子が増えていきました。

その頃から、一人の女の子がワンピースを着てくるようになった事に気が付きました。彼女に「ワンピース、可愛いね。」「似合うかしら〜。」と声を掛けると、気分良く“決めポーズ”をしてくれるのがお決まりになりました。

そんなやり取りの中で、私が「せんせいもワンピース着てよかな」と何気なく発した言葉を、彼女は家でお母さんに話したようです。そのことを母様から聞いた私は「実現せねば！」と思い、急遽、わたしと彼女の企画「わたしのワンピースDAY」を開催しました。

クラスの皆とスタッフに「よかったらワンピースとかお気に入りをお召しになってご機嫌に過ぎさない？」とお誘いした翌日。私はワンピースを着て出勤しました。他のスタッフも何人かワンピース姿。その中で、2歳児クラスの彼女はご機嫌な様子で堂々と歩いて登園。普段とはオーラが違いました。朝早く頑張って登園している彼女は、よくご機嫌が斜めで家族にだっこをされてくることも多いのです。実は彼女、前日寝る前に、試着しながら「明日はこれを着ていく！」と自分で決めたとのこと。だから彼女の堂々とした登園姿があったのか、と納得しました。

さて、当日ははなやかでご機嫌なクラスでした。お気に入りのワンピースを着た男の子や女の子、そして、ワンピース以外にも気に入ったTシャツを着て胸を張って紹介してくれる男の子の姿。ある男の子は、自宅で準備中に「どれにする？(母)」の問いに「バナナ!!」と、バナナ柄の洋服を選びました。登園後、皆で「どんな風にお気に入り？」と紹介があったときにも元気に「バナナ！バナナ！」と教えてくれました。この日は園内の色々な人たちに自分たちのお気に入りの披露して回る姿が見られました。そうすると、大人も足を止めて声を掛けてくれ、子ども達の話に耳を傾けていました。

この日を通して感じたことは、『楽しい・好きは原動力』ということ。今日の為にあれこれ考えて、『自分が好きなのはこれ!』と決め、大人と話をしたり、自分の“楽しい！好き！”をアピールしたり。この日の子ども達はいつも以上に輝いていました。担任の5人の大人も、子ども達と同じようにルンルンしていつも以上に笑顔が多かったように思います。(笑)

子ども達の“楽しい”は大人をも巻き込む大きな力がありました。

こうやって、自分には叶える力があるんだ！と自分を認め、何よりも自分を信じる力が育つといいなと思います。

【芽生えたミッション】

國友 裕子

スタッフルームからの景色。

4歳児クラスの彼は他の子達より準備を早めに終えて時間が余った様子でした。他の子ども達はお部屋で着替えたり、トイレを済ませたり忙しそうでした。

彼は先生が作業をしているところに手伝いに来てくれたのだらうと思います。先生は椅子の細かい汚れやゴミを掻き出していました。

彼は最初、先生と同じ動きをしていました。

先生とおそろいの、白くて長い道具を持って、掻き出すしぐさ。

動きがリンクしてほほえましく、私は動画を回しながら見守っていました。すると、今度は白い棒と同じ動きをするのをやめました。

今度は先生のサポートをし始めました。先生が掻き出したごみをスッと入れやすいようにごみ箱を差し出していました。その差し出す間合いが、なんだか長年の付き合いがありそうなほど絶妙で、見ているこちらもち心地よく感じました。

その次に、先生が作業中の同じ一つの椅子で一緒にまた自分も真似をして作業を始めました。もっと近くでしっかり見ながらやりたいと思ったのでしょうか。

そんなことをしていると、保育室の子ども達から「何してるの？」と呼びかける声が聞こえ、二人そろって同じ方向を見て、互いに話をして、また何事もなかったかのように作業に戻りました。

この一連の彼の行動に仮説でキャプションをつけたくなりました。

①大人と同じ道具をもって同じ行動をする。

→「おもしろそう、やってみたい。」と興味がわいた？

②大人のサポートとしてごみ箱を差し出す。

→きっと「役に立ちたい。」と考えた？

本人のただ「やりたい」だけでなく、作業効率を考えて行動を変えた？

③一つの椅子で二人で作業を始める。

→「やっぱり、やってみたい。もっと上手に。」と思った？

そうするには、もっと近くで見ながらやろうと工夫した？

④保育室の呼びかけに耳を傾け、また作業に戻る。

→時間が余ったから手伝った感覚はなく、先生と一緒に作業を終えるミッションを持っていた？そこには自分はこの作業をしていいという安心を感じていたかもしれない。

これは個人の推測で、仮説です。彼に聞いたら違う答えが返ってくるかもしれません。

ただ、この行動は、確実に彼の意志や考えにより自発的にアクションが起きていることが言えます。

1分15秒の動画を切り抜いたら、そこに見えました。保育園の「にやっ」としたワンシーンをおすそ分け。



1

2

3

4